



🚰 全国初のFITによる小水力発電を開始

- 生駒市山崎浄水場では、浄水場より標高が74m高い奈良県営水道平群調整池から毎時約600m³の浄水を受水していますが、受水圧が高いため、これまで減圧弁を使って水圧を下げて受水していました。この受水圧の有効利用が課題でした。
- 平成23年度にこの水圧を利用した小水力発電施設導入の方針を決定し、平成25年3月にFIT制度を活用して完成いたしました。事業費は約1億4,000万円です。



- 平成24年7月発足のFIT制度を活用した小水力発電施設の導入は、水道事業として全国初となりました。
- 発電電力量は40kwで、一般家庭62戸分の年間電気使用相当分を発電でき、年間108tの温室効果ガス排出の削減につながる計画です。
- 関西電力株式会社への売電期間は20年間で、設置費用と維持管理費用を差引して、20年間で約8,000万円の利益を見込んでいます。

- 水量、水質とも安定しており、24時間効率的な発電が可能で、平成25年度は、予定どおり年間で36万kwの発電を行い、約1,300万円の収入がありました。
- 発電機棟は近鉄生駒線に面して配置されており、RC造の地上1階建てで、白色の壁面にブルーの文字で「小水力発電」と大きく表示し、夜間にはLEDでライトアップすることにより、通勤通学者に再生可能エネルギーの有効利用をアピールしています。(深夜には消灯しています。)
- 見学者向けに、発電機棟内の発電機盤にリアルタイムの発電量と累積発電量をデジタル表示して、再生可能エネルギーの有効利用が目に見えて実感できるようにしています。
- これまでに自治体関係者など約300名の方々に見学に来ていただき、環境に対する関心の高さがうかがえます。



🚰 生駒の水PR事業

- 生駒市では、更に環境に寄与すべく、生駒の水PR事業を実施しています。
- 利き水コンテストの実施や、マイボトルに給水できる給水機を公共施設に設置し、生駒の水本来のおいしさを実感してもらうことにより、マイボトルの普及と水道水の需要の喚起などに寄与するものです。
- 平成25年度は、生駒駅前北口第二地区再開発事業ベルテラスいこまにぎわい広場など2ヶ所に飲用・ボトル給水兼用タイプ給水機を設置しました。

